

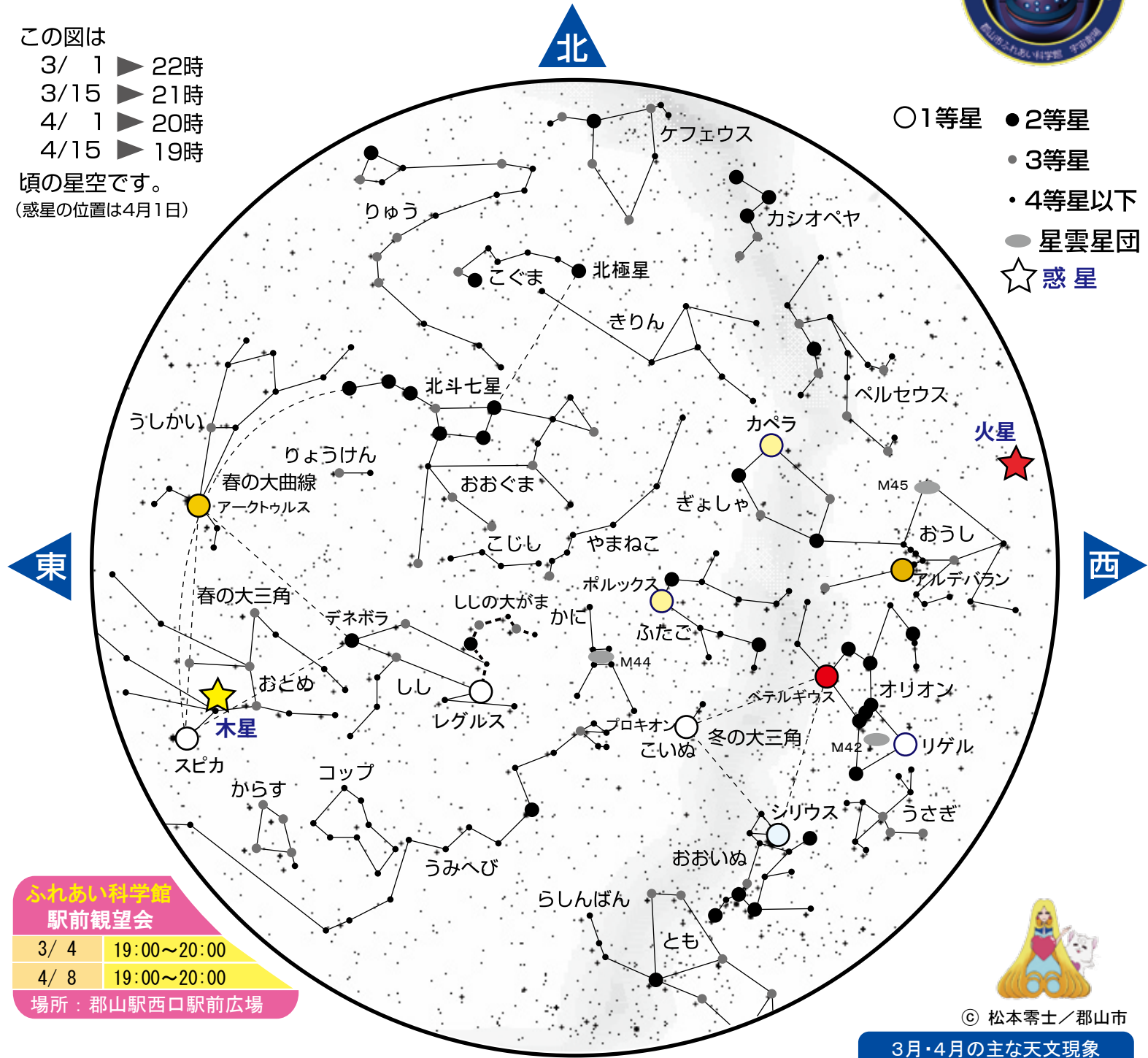
2017年

# 3月▶4月の星空



この図は  
 3/ 1 ▶ 22時  
 3/15 ▶ 21時  
 4/ 1 ▶ 20時  
 4/15 ▶ 19時  
 頃の星空です。  
 (惑星の位置は4月1日)

- 1等星 ●2等星
- 3等星
- 4等星以下
- 星雲星団
- ☆惑星



**ふれあい科学館 駅前観望会**  
 3/ 4 19:00~20:00  
 4/ 8 19:00~20:00  
 場所：郡山駅西口駅前広場



© 松本零士/郡山市

3月・4月の主な天文現象	
3/20	春分の日
3/23	金星が内合
4/ 8	木星が衝
4/22	4月こと座流星群極大

郡山の日の出・日の入			月の満ち欠け	
3/ 1	6:10	17:33	新月	3/28, 4/26
3/15	5:50	17:46	上弦	3/ 5, 4/ 4
4/ 1	5:24	18:01	満月	3/12, 4/11
4/15	5:04	18:14	下弦	3/21, 4/19

※上弦、下弦は半月です。

この時季は雪解けとともに冬の星座が西に傾いて春の星座が昇り、星空の主演が移り変わる様子をご覧ください。南の空には春を代表する星座の1つ、しし座があります。しし座の目印は、「ししの大がま」という星の並びです。心臓の1等星「レグルス」から頭にかけて逆向きの「？」マークのような形をしています。しし座の東側にはおとめ座があります。白い1等星「スピカ」がおとめ座の目印です。また、今年はスピカの近くに木星があります。木星は「スピカ」よりも明るく、やや黄色に見えます。また、木星は星座の星よりまたたきが少いため、2つの星の輝きに注目すると見分けるのは難しくありません。木星は4月8日に「衝」（太陽—地球—木星と並ぶこと）となり、ほぼ一晩中見えるようになります。望遠鏡では、木星の縞模様や衛星の姿をお楽しみいただけます。

北の空高くには「北斗七星」が見えています。おおぐま座の腰からしっぽに当たる星の並びで、日本では古くから“ひしゃく”に例えられます。また、図のように「北斗七星」のはしの2つの星を結んだ線を伸ばすと、北極星が見つかります。一年を通してほぼ真北にある星で、方位を知る手助けになります。北極星はこぐま座のしっぽの星で、こぐま座は小さな「北斗七星」のような形をしています。同じような星の並びを持つおおぐま座とこぐま座を、ぜひ見つけてみてください。夜はまだ冷え込むことがあります。明るい星も多く夜空は賑やかです。街灯など強い光を目に入れないようにして、星空をお楽しみください。

